

## 中春の光

- 一、中春の光空に満つ  
春たけなわの金砂がに  
いざ立て健児秋工の  
日頃の腕を試しめん
- 二、幾日ここに鍛へたる  
双の腕に満ち充てる  
力試さん時ぞ今  
征け征け勝利の峰高く

## 秋工音頭

- 一、山は太平流れは旭  
丘の緑がにっこり笑う  
風はそよ風桜も咲いて  
八十余年を語り合う  
ホんに秋工はよい所  
ソレよい所
- 二、強い体で心はやさし  
話しかければにっこり笑う  
意気は剛健努力は不断  
一千二百が肩を組む  
ホんに秋工はよい所  
ソレよい所
- 三、進む科学へ輝く瞳  
望み大きくにっこり笑う  
金砂健児は技術に生きて  
先輩二万ぼくといる  
ホんに秋工はよい所  
ソレよい所

## 金砂行進曲

- 一、太平の空 <sup>こむらさき</sup>濃紫  
望みは清し旭川  
此金砂がに宿りして  
八十余年の春と秋  
栄えある歴史思ふ時  
胸に血潮の波おどる
- 二、集へる健児幾千の  
心は一つ諸共に  
花なり実なり工業の  
基 <sup>もとみ</sup>を養い磨くなり  
鍛え上げたる腕は  
世の濁流も物ならず

## ラグビーの歌

- <sup>はくがい</sup>白凱 々の雪にて  
球蹴れば <sup>ぎんかい</sup>銀塊 飛ぶ
- <sup>たけき</sup>紫白の <sup>しるし</sup>猛き 徴 には  
世助の誉高し
- 勇めよ我友よ  
いざ征けいざ征けよ  
正義の小旗なびき  
自助の劍輝く

トララ秋工秋エトラーラトラーラ  
トララ秋工秋エトラーラーラー

## 凱 歌

- 戦雲すでにおさまりて  
敵軍今や影いづこ  
見よ <sup>さんぜん</sup>燦然 と輝ける  
我等が秋工の旗の色